

平成 28 年 1 月 4 日発行

有明ニュース

平成 28 年 1 月号 No24

 がん研有明病院



完成した新棟（手前の4階建）

新年のご挨拶

High Volume Center-症例数が多いということ

病院長 山口 俊晴



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願
いいたします。

がん研究会有明病院は 700 床のベッドを有する、日本最大のがん専
門病院です。手術症例数や、内視鏡検査数・治療数、放射線治療数、
抗がん剤治療数もその多くが日本最多です。病院が大きいので、最多
になるのは当然であり、何より症例数よりその質が問題であるという
意見もあります。それはその通りなのですが、いくら病院に多くのベ
ッドがあり手術室があっても、治療や検査を希望する患者さんがいな
ければ、そもそも症例数が多くなることはありません。言い換えれば、
患者さんの信頼がなければ実現できないのです。

患者さんが当院での加療のために来院された理由を調査してみると、
診療科により差はありますが、およそ半数が担当医の勧めであり、残りの半分が患者さんあるいはその
ご家族の希望でした。

担当医の信頼を得るためには、医療施設間の連携も大事ですが、がん研に所属する医師の質の高いこ
とが重要です。学会で活発に優れた業績を発表するなど、常にその分野で日本のがん医療をリードする
立場であることを示し、実際のその成果が患者さんの治療に反映されていなければなりません。また、
患者さんの信頼を得るためには、医師の技量もちろんですが、一番長く患者さんと接する看護師や、
薬剤師や技師など一緒に医療を支えるスタッフの質の高いことも要求されます。

つまり、日本のがん医療をリードするような医師が、優れた看護師などのコメディカルスタッフとチ
ーム医療を行うことで、はじめて担当医や患者さんの信頼を得ることができるといえましょう。さらに、
多数の症例は医療チームを忙しくするだけでなく、医療の技術レベルをさらに磨き上げるという利点も
あります。また、チームはやりがいを感じ、その士気も向上します。このように、質が高いことが症例
数を増やし、症例数の多いことがさらに医療の質を上げるという、良い循環になるようさらに努力した
いと思います。

社会的チーム医療で進化し続ける放射線治療部

放射線治療部 部長 小口 正彦



皆様の温かい御支援をいただき新棟が完成いたしました。放射線治療の設備・機器は新棟地下1階に増設され、これまでの2倍の規模になります。新棟の最新高精度放射線機器と最近の放射線治療の進歩について、ご紹介したいと思います。

1 最新高精度リニアック

新棟の最新高精度リニアックによって、強度変調放射線治療（IMRT）回転型強度変調放射線治療（VMAT）と画像誘導放射線治療（IGRT）は、特別なものではなく普通の標準的治療になります。強度変調放射線治療（IMRT）では、コンピュータにより高精度に制御された複数の放射線ビーム（X線）をがん病巣の形に合わせて照射します。腫瘍により強く放射線を集中し、周囲の正常組織の被曝線量は可能な限り少なく抑えることが可能です。治癒率を高め、副作用が少なくなりました。しかし治療時間が、通常の3次元照射の3倍以上かかるという課題がありました。そこでIMRTを短時間に行うことができる回転型強度変調放射線治療（VMAT：RapidArk）が開発されました。治療寝台に寝ている時間が短縮され、患者さんの負担が少なくなることが期待されています。また、がん病巣の位置は、呼吸や消化管の蠕動などの体内臓器の動きによって、日々時間ごとに変化します。がん病巣の位置をリニアックに付属するCTによって確認して位置合わせする、画像誘導放射線治療（IGRT）が開発され、さらに治療精度が高くなっています。



これまでは既設リニアック3台のうち、1台しかIMRT/VMATとIGRTに対応していませんでした。新棟開設後には、IMRT/VMAT/IGRT対応リニアックが2台増設され、1年後にはさらに1台増設されます。放射線治療技師・放射線腫瘍医・医学物理士・放射線治療看護師も増員されますので、IMRT/VMAT/IGRTは誰でも受けられる標準的治療になると思われます。これらIMRT/VMATとIGRTの組み合わせによって、放射線治療成績は年々向上してきました。頭頸部

がんのうち上咽頭癌・中咽頭癌では、放射線療法と薬物療法（+救済手術）の併用治療により治癒率が高まり、嚥下機能・発声機能が温存されるようになりました。これまで問題であった放射線有害反応のうち、唾液分泌低下や味覚障害も少なくなりつつあります。前立腺癌では、中間リスク高リスクの場合でもホルモン療法との併用で、極めて高い治癒率が得られていますので、論文報告予定です。この他にも、長期生存例が多くなっている悪性リンパ腫では、20年以降の放射線誘発癌を少なくするために、IMRT/VMAT+IGRTが開始されつつあります。

2 最新高精度小線源治療システム

新棟では最新の高精度小線源治療システムが、国内では先駆けて設置されます。これによって画像誘導放射線治療（IGBT）が、必要時に適切に行えるようになります。これまで難治性であった III 期子宮頸がん例においても、移動型 CT を用いて小線源を最適に配置することが出来るようになります。50%程度であった治癒率は 80%を超えるまでになりました。麻酔科の全面的な御協力によって、苦痛の少ない小線源治療が実現しつつあります。

3 安全管理情報管理システムとノンストップ放射線治療

高精度放射線治療装置であるリニアックは、デリケートな機械です。その品質管理には細心の注意と配慮をしています。毎朝、始業点検し、週末には時間をかけて調整整備を行っています。放射線治療品質管理室では専任職員が、機器製造企業の支援を得て、年間を通じて計画的に放射線治療装置の品質管理を行っています。しかし、既存のリニアック 3 台は、互換性がなく予期せぬ理由で故障すると、患者さんにお待ちいただくことがしばしばありました。新棟の高精度リニアックは、互換性調整できるため、予期せぬ故障時にも待つ時間が短縮され、ノンストップ放射線治療が可能となります。これまでも当院では、ゴールデンウィークや年末年始の長期休日にも放射線治療を行い、治癒率を高める努力をしてきましたが、このノンストップ放射線治療はその延長線上にあります。



放射線治療が高精度になるにつれて、扱う情報量や担当する職員数が増えて複雑化するため、エラーの危険性が高まります。当院では放射線治療安全・情報管理システム（RIS）を継続的に開発してきました。その最新版によって、既存施設と新棟の 2 か所に分かれる放射線治療の安全性を担保することができます。

このように進化し続ける放射線治療は、事務職員・看護師・診療放射線技師・医学物理士・医師などの病院職員のチーム医療によって行われていますが、建築企業・機器製造企業・IT 企業・金融など社会的チーム医療によって実現されてきたことを強調したいと思います。

最後に、これまでの皆様の温かい御支援に、深く御礼申し上げます。使える全ての知識と技術を駆使し、社会的チーム医療によって、少しでも難治性癌を克服する放射線治療を開発し、長い期間にわたる放射線被曝の副作用を極力少なくする成果を上げることで、真の御礼とさせていただきたいと思ひます。

ご期待ください。ありがとうございました。

新棟 OPEN の日程

- 平成 28 年 1 月 4 日 : 1F フロア (がん情報コーナー、タリーズコーヒー) OPEN
- 平成 28 年 1 月 18 日 : 3F, 4F フロア 健診センター OPEN
- 平成 28 年 1 月下旬 : B1 フロア RALS 室、診察室 OPEN
- 平成 28 年 2 月 1 日 : 2F フロア 画像診断フロア OPEN

第5回がん研有明病院紹介セミナー開催について

下記日時におきまして、がん研有明病院紹介セミナーを開催いたします。

皆様へは既に案内状を発送させて頂いておりますが、日頃お世話になっております、先生をはじめとする医療機関の皆様と、意見交換を通じてがん研有明病院をより詳しく知って頂きたいと思っております。

是非ご出席賜りますよう、お願い申し上げます。

【日時】平成28年2月23日(火) 19時00分～21時00分

【場所】ソラシティーカンファレンスセンター ソラシティーホール

【内容】18:30 受付

19:00 開会 山口病院長挨拶

19:05 講演会 ①肝胆膵内科部長 笹平 直樹 膵がん診療の新展開

②乳腺センター長 大野 真司 がんと生きる：がん医療の新展開

19:55 診療科医師との意見交換会(懇親会)

お問い合わせがございましたら、連携推進室までお気軽にご連絡ください。

医療連携（前方連携）担当窓口名称変更のお知らせ

平成27年11月1日付にて組織の一部変更を行い、旧医療連携課は「連携推進室」と「診療予約室」に分け、連携の強化と紹介の向上を図る事になりました。

今後も患者さんへ安全な医療を提供できるよう取り組み、強い連携を継続していきたいと存じます。

引き続き、ご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

連携推進室：講演会・セミナー等対応等

電話：03-3570-0563

FAX：03-3570-0254

診療予約室：新患予約対応等

電話：03-3570-0506

FAX：03-3570-0254

診療予約室 患者さん診療予約のご案内

診療予約室では、医療機関の先生方からご紹介をいただいた患者さんの診察・セカンドオピニオンの予約調整を行っております。お問い合わせの窓口としてご信頼いただけますように、迅速・確実な対応を心がけてまいります。

ご紹介は、下記の電話・FAXでお申込みいただけます。（患者さんご自身でお電話していただき予約することもできます。）

※電話受付時間：平日 午前8時30分～午後4時30分

電話：03-3570-0506（医療機関様用）

03-3570-0541（患者様用）

FAX：03-3570-0254

公益財団法人 がん研究会 有明病院

発行：連携推進室

〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31

TEL 03-3570-0563

FAX 03-3570-0254

(E-mail) renkei@jfcr.or.jp

ホームページアドレス：<http://www.jfcr.or.jp/>